



「謹賀新年」



健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は大変お世話になりました。本年もどうぞよろしくお願い致します。

今年の干支は「乙巳(きのと・み)」です。陰陽五行説によると、この年は長年の努力が実を結び、成長の勢いが増す年、過去の失敗を新たな成長に変える絶好の年、鬱積したパワーが解き放たれ、大きな変革を遂げるとのこと、また腐敗が一掃され世の中に正義が訪れる年とも云われています。「乙巳」は美しい花が一番成長した状態

を指すそうで、この5年間に亘って社会を覆った新型コロナの暗雲から私たちの日常を解放してくれる明るい年になることを願うものです。

前回の「乙巳」の年は昭和40年(1965年)でした。前年に東京オリンピックが盛大に行われ、高度成長時代の真ただ中、戦後最長の好景気、いざなぎ景気が始まった年でした。ソ連のボスホート2号による人類初の宇宙遊泳を行い、中国では文化大革命が起こり、アメリカはベトナムで北爆を開始してベトナム戦争が泥沼化していった年でもありました。また、ビートルズがアメリカに進出し、瞬間に世界を席卷したのもこの頃でした。ちなみに当時の日本の人口は約9,700万人、新居浜市の人口は約12万5千人、出生数も約2千人、まさに坂の上の雲を目指して歩んでいた時代でした。

そして、この1965年は私たち生涯学習に取り組む者にとって記念すべき年です。世界で最初に「生涯教育」という言葉が世に出たのがこの年でした。今は、学習者の視点に立って「生涯学習」と呼ばれることが多いのですが、当時は、学習を提供する側から「生涯教育」が一般的でした。平成になって一気に生涯学習に替わります。

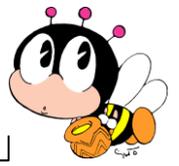
この、「生涯教育」という新しい概念を提唱したのが、ポール・ラングランというフランス人です。ユネスコの成人教育推進国際諮問委員会の席上で「生涯教育」についてのワーキングペーパーを提出しました。彼は第二次世界大戦後「民衆と文化」という組織で活動し、教育と文化の民主化によって、「共に生きる社会」の実現に取り組みました。当時のフランスにはまだ、教育や文化において大きな不平等が残っていました。彼は学校で教育を終わりにするのではなく、成人教育においても公教育の改革を行い、民主的な社会の実現のために生涯にわたって、すべての人々が自らの持つ能力を最大限に発揮し、最高の自分になっていくこと、人としての尊厳の重要性を謳い上げました。急激な社会構造の変化に対応できない既存の教育システムを変革し、「生涯を送るにあたって十分な知識や技術を与える機会」から「人生における様々な体験を通じて、常に自分自身を成長させるための機会」へと転換させたのです。先月号でも紹介した「最終学歴」から「最新学習歴」へのシフトチェンジも、既に還暦を迎えたのだなと感慨を覚えるところです。

私たちの生涯学習大学は今年で33歳を迎えます。多くの先輩が創り上げてきた学びの文化を大切に、「温故創新」「活私奉公」の精神を持って皆さんと共に歩み続けていきたいと思っております。今年も元気に愉しくがんばっていきましょう。

(文責 関)



「十河信二の人生 ～新幹線の父の事跡を辿る～」



7月31日から始まった講座が11月14日に終わりました。「新幹線の父」と呼ばれた十河信二氏について、人生の歩みを辿っていきました。4回目には西条にある「四国鉄道文化館」や「十河信二記念館」の見学をしました。

第1回「出生の地中萩、青春の時代を知ろう」



中萩古文書を読む会
曾我部 多見子



第2回「十河信二 偉業達成の背景を探る」

第3回「十河信二新幹線を走らせた信念の快男児」



西条郷土博物館館長
真鍋 和年



愛媛県観光スポーツ文化部 文化局まなび推進課専門学芸員
富吉 将平

第4回「鉄道歴史パーク SAJO（四国鉄道文化館・十河信二記念館）見学」



四国鉄道文化館
十河信二記念館 見学



《受講生の感想》

- ・郷土の誇る十河信二。地元ならではの話に納得できる部分が多かった。
- ・十河信二が国鉄就任を引き受けたいきさつや、新幹線を走らせるまでのアプローチが、まさに“朝ドラ”には「もってこい」だと思った。
- ・日本にとってのすばらしく偉大な方が、こんな身近にいたことに改めて感動しました。もっと学びたいと思います。
- ・生誕 140 年、新幹線開通 60 年という今年、十河信二氏の功績を細かく知れば知る程「有法子」成せば成るといふ十河信二の生き様にふれることができたように思う。



「大丈夫、大丈夫」

No.44
私の生涯学習

吉田 康雄

直近データによると、総人口に占める高齢者の割合が、29.1%で、高齢者の就業者率は、25.2%だそうだ。3人に1人が高齢者の時代に向かう中、就業者率のこの数字は頼もしいと思ったのは私だけだろうか。

私も、事務系会社を定年まで勤めた後、パートではあるが介護の仕事(デイサービス)に就いた。お金も欲しかったけど、仕事を通じて、人に何か与えられることの喜びを、直接的に味わえる仕事に就きたいと思った。覚悟はしていたが、やはり、慣れない仕事なので、思ったようにはうまくいかず、気持ちがへこむ時もあった。そんな時、「生涯学習大学」と「生きがい創造学園」の講座を受けると、清涼剤のようで気分転換に役立つ。

勤務先のレクレーションで、読み聞かせをする絵本の中に「大丈夫、大丈夫」がある。小さい子供にとっては、世の中の出来事は初体験であり、すべてが、恐ろしくも怖くもみえて不安になったりする。そんな時、おじいさんが、不安そうに怯えるお孫さんに向かって「ひと息おいて、見方を変えてもう一度みてごらん。大丈夫、大丈夫」と、優しく諭してくれる話だ。

いま、私が生涯学習機関で受講している3つの講座に、この方法を当てはめてみると、

①「メンズ・キッチン」男の料理は、レシピ通りにいかず、出来上がった料理が、焦げて、煮崩れて、見た目がひどくなってしまっても、最初の食材と調味料の分量さえ間違えていなければ、食べてみるとまあまあ旨いので、大丈夫なのである。

②「郷土をあるく」の歴史探訪は、結構歩いて疲れるけれど、講師が丹精込めて用意してくださった資料は、家宝になるし、疲れた足も風呂に入ってよくマッサージすれば、翌日は調子よくなるので、大丈夫なのである。

③「ピアノ」は、初心者の私でも、山内先生の魔法の言葉「練習できなくても、上手く弾けなくてもオ～ケ。毎回のレッスンに出ることが一番。」にかかり、また、まぐれで弾けて褒められたりすれば、いつのまにかピアノ練習のむしになっており、いつかは曲が弾けそうに思えるので、大丈夫なのである。

人生の楽しみの一つである『自分で何かできること』ことが味わえるかもしれない。『老い』も同じで、一旦は受け入れて、うまく付き合っていければ、心穏やかな余生が送れるのかなと、呑気に思ったりする。





講座カレンダー



📅 予定のご確認を...

※警報や災害・講師の都合などで日程を変更することがあります。

日	曜	講座名	回	テーマ	時間	場所
4	火	大人の日本史講座 追加	4	近現代の日本～戦争の2…	13:30	生涯学習センター研修室
5	水	新・雑談しま専科	9	安全で楽しい食事のために	14:00	生涯学習センター研修室
12	水	◎懐かしの心の唄講座…	8	童謡、唱歌、ラジオ歌謡…	10:00	文セン別館中ホール
		人生百年 健康に生き…	8	高血圧について	14:00	文セン別館視聴覚教室
17	月	野鳥観察 初級	4	国領川河口と沢津海岸探…	9:00	現地・その他
19	水	今日から始める介護追加	4	運動で心も身体も軽やかに	13:30	ふれあい多目的アリーナ
25	火	大人の日本史講座（前…	5	生涯学習の原点・江戸時…	13:30	文セン別館視聴覚教室
26	水	M ひな祭りの生菓子	—	ひな祭りの生菓子三種と…	14:00	ふれあい調理実習室

※◎がついている講座は聴講可能講座です。

《聴講の申し込み方法について》

- 講座 3 日前までに生涯学習センターに電話（33-2991）し、予約してください。
- 先着順になります。なお、定員を超えた場合はお断りすることがあります。
- 聴講券は 1 枚 300 円です。
- 申込時間 平日 8:30 ~ 17:15

《令和 7 年度講座申し込みについて》

今年度の講座数も残り少なくなってきました。

令和 7 年度講座冊子も今、作成中です。

3月1日（土）から各公民館・市役所等に申し込み冊子がありますので、ご確認の上、忘れずにお申し込みください。

